

被爆75年目に贈る 原爆被爆の実相とたたかい

「原爆と人間」展

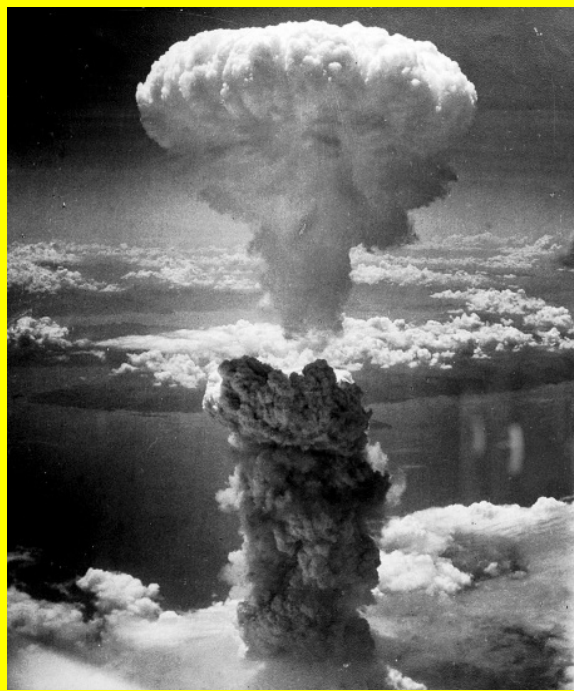
日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）

ヒロシマ



1945年8月6日午前8時15分、
広島に原爆投下、広島市の上空に立ち
のぼるきのこ雲（米軍撮影）
写真提供：広島平和記念資料館

ナガサキ



1945年8月9日午前11時
2分、長崎に原爆投下。長崎市の
上空に立ちのぼるきのこ雲
（米軍撮影）長崎原爆資料館所蔵

第19回 令和2年（2020年）被爆75年

8月17日（月）～8月21日（金）午前10時～午後4時

8月17日は午前10時30分から開始・8月21日は午後3時30分で終了します。

【会場】静岡県庁 別館21階 展望ロビー

- 被爆体験者の証言（広島・長崎）
- 核廃絶を訴える「高校生平和大使」の紹介
- 「ヒバクシャの証言」「被爆の爪痕」などの上映
- 広島・長崎・ビキニ・フクシマの写真、市民が描いた原爆の絵
- 高校生が被爆者から聞いて描いた「原爆の絵」広島市立基町高校
- 「はだしのゲン」（中沢啓治 作）1・2、
「つるにのって」（ピースアニメ）上映

■主催 静岡県原水爆被害者の会・静岡市原水爆被害者の会
■後援 静岡県・静岡県教育委員会・静岡市
■問い合わせ先 静岡県原水爆被害者の会（Tel/Fax 053-463-3502 大和）

被爆者の話を聞いて高校生が描いた原爆の絵

広島市立基町高校

所蔵/広島平和記念資料館



「忘れられない～あの目」作/富田彩友美



広島市立基町高校
高校生が描いたヒロシマ



「焼き場に立つ少年」

すでに息を引き取っている弟を背負った
直立不動の少年
固く結んだ唇には血がにじんでいた。
少年は火葬の順番を待っている。
核兵器廃絶を訴えるローマ教皇が、
世界に普及させた写真。

撮影 ジョー・オダネル

(元アメリカ海兵隊カメラマン)

《ヒバクシャを再びつくりたくないために、活用をお願いします。》

(ミニパンフ) ヒロシマ・ナガサキ **原爆と人間**

被爆者が心を込めて企画編集しました。
この新しい「原爆と人間」を、
より多くの人に見ていただき、
地球上から核兵器をなくすための世論が
広がることを願っています。
希望する方は下記にご連絡ください。

申し込み・
問い合わせ

静岡県原水爆被害者の会
TEL・FAX 053-463-3502 (大和)

